

職業に対する学生の理解度と職業観の関連性

千代田 真紀

The relevance of students' understanding of occupation and work perspective

Maki CHIYODA

1 はじめに

平成29年9月8日、厚生労働省は労働政策審議会（会長 樋口美雄 慶応義塾大学商学部教授）に「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律案要綱」について諮問した。労働環境の改善は、企業だけではなくいまや国全体に関わる課題であるが、一方の当事者である労働者（働く側）の意識の「改革」も今後問われていくことになるであろう。

また他方では、わが国における労働生産性の低さと労働分配率の低下が指摘されるなか、「脱時間給」制度の導入についても議論されるようになった。労働分配率の低下は、物価の低迷と併せて今日の経済問題としても大変注目されている。労働分配率は労働生産性と無関係ではないことは言うまでもない。さらに、労働生産性は労働者（働く側）の意識と無関係ではあるまい。いずれにしても、「働き方改革」「脱時間給」「労働分配率」「労働生産性」などの問題の重要性が増していくなか、労働者の意識（職業観、働く意欲、生産性に対する考え方、賃金に対する考え方、転職に関する考え方など）のあり方は、今後益々注目されていくことになるであろう。

このような状況下、これから就職期を迎える学生たちはどのような職業観をもっているのだろうか。現在の労働者の意識と同様に、学生の職業観も重要であると考えられる。

そこで本稿では、平成29年6月に千葉経済大学短期大学部ビジネスライフ学科1年「キャリアデザインⅠ」授業において、学生より提出された課題レポート「業界研究シート」（資料1）を分析することにより、学生の職業に対する理解度と職業観との関連について考察した。

この課題レポートは、学生が実際に働いている人にインタビューする形式で実施した。目的は三つである。

(1) 世の中にどのような仕事があるかを知る。

(2) 実際に働いている人から話を聞き、仕事は作業だけではなく、職場の雰囲気、人間関係（社内外）、個人の感情や個性、条件等が関連する中で成り立っている事を知る。

(3) 自分の視点で仕事や働く事について考える

本稿の「職業に対する理解度」は①～⑤の度合いで分析している。

①業界と職種の理解

②業務内容の理解

③労働条件の理解

④職場環境の理解

⑤従業者の感情と価値観の理解

本稿では課題レポートを調査解析することにより、学生の持つ職業観を明らかにしていく。

2 調査内容と結果

※本稿で学生の記述を掲載する際、学生が書いた文章をそのまま転記している（やや不自然な表現の文章もそのまま転記している）

【調査内容】

課題レポート提出者：千葉経済大学短期大学部ビジネスライフ学科1年 124名

提出時期：平成29年6月

課題内容：業務に従事する者に対してヒアリングを行い、結果を提出する

（正社員、アルバイト、派遣社員、パートタイマー等の雇用形態は不問）

提出用紙：「業界研究シート」（資料1）※各項目は自由記述形式

<学生が提出したレポート（7人分を掲載）>

事例1

1	業種・職種	石油化学オペレーター
2	扱っている商品・サービス	石油化学製品
3	業務内容	装置のパトロール、運転記録採取
4	研究前のイメージ	工場内の安全管理
5	研究後、または企業見学の印象（雰囲気も含めて）	ナフサを最後まで無駄なく製品化し、石油化学製品を総合的に製造している。
6	実際に働いている人の印象（全体・若手社員・管理職など）	交替勤務なので生活リズムが不規則で大変そう。
7	楽しいこと・やりがい	自分たちの作る化学製品が使われること。
8	大変なこと・つらいこと	覚えることが多く、装置が止まってしまうと工場全体がストップしてしまうというプレッシャーがある。
9	業界・業種の動向と将来性	毎年給料が上がっていくので金銭的には安定はあるけど交代勤務なので歳をとってからの不規則な生活リズムには心配がある。
10	条件	三か月間自動車の運転禁止、危険物4、2級ボイラー・高圧ガスを取らなければ昇進なし
11	<p><あなたの感想> 普段私たちが何となく当たり前に使っている物をこのように苦勞して働いているのだと思うと、更に物を大切にしようと思った。特にこの会社は製造だけではなく製造するための勉強や資格が必要というのを知り、更に夜勤出勤もあるので大変そうだった。</p>	

事例2

1	業種・職種	パート野菜のパッケージ
2	扱っている商品・サービス	有機野菜
3	業務内容	スーパーや小売店に卸せるようにグラムを量り、野菜をパックすること
4	研究前のイメージ	野菜をダンボールにひたすらつめるイメージ
5	研究後、または企業見学の印象（雰囲気も含めて）	食品を扱うということで衛生管理がとても厳しく驚いた。
6	実際に働いている人の印象（全体・若手社員・管理職など）	重い荷物を持ち上げることが多く、とても重労働な仕事だと思った。
7	楽しいこと・やりがい	野菜のグラムがぴったりあった時
8	大変なこと・つらいこと	15キロ以上の野菜のダンボールを持ち上げる時
9	業界・業種の動向と将来性	有機野菜が今は注目の的なのでこれから市場が大きくなっていく。
10	条件	車通勤可、倉庫内作業なのでズボン必須、食品を扱うので異物が入らないように注意する。
11	<p><あなたの感想> 話を聞いてみるまで、商品をつめていくだけの仕事だと思っていたので、こんなに重労働で大変な仕事だとわかりとても驚きました。 また食品を扱っているということで、工場内の衛生管理がとても厳しく大変そうだと思いました。 有機野菜が注目されてきているということで、これからもまだまだ伸びがある産業だと思いました</p>	

事例3

1	業種・職種	コンビニエンスストア・マネージャー
2	扱っている商品・サービス	食料品、日用品、雑誌など
3	業務内容	接客対応、商品発注、スタッフのシフト管理など
4	研究前のイメージ	休みがなくて大変そう
5	研究後、または企業見学の印象（雰囲気も含めて）	挨拶が徹底されていて、スタッフにも細かいところまで指導されている
6	実際に働いている人の印象（全体・若手社員・管理職など）	大学生から主婦、他にも仕事をしていた人など、幅広い方がバイトをしている。
7	楽しいこと・やりがい	お客様やスタッフと接しているなかで、自分も成長できること。売り場や店内の内装を自分で作り、成果がでてくると嬉しい。「ありがとう」と言われること。
8	大変なこと・つらいこと	睡眠時間が足りないこと。自分の時間が作れる一方、作れない時も多い。子供が小さい時からやっていたので申し訳なかった。
9	業界・業種の動向と将来性	今やコンビニは小さい子供からご年配の方まで、幅広い年代の方が利用しており、身近で欠かせないものとなっている。ただ数が増えてきているため、お客様を増やすための策が重要になっている。
10	条件	勤務時間4.5時間、制服あり、車通勤可、Wワーク歓迎
11	<p><あなたの感想> 実際自分が働いているコンビニにインタビューしてみて、やっぱり24時間365日営業しているために、休みがなかなかとれず、風邪をひいても代わりがいないために店長やマネージャーは出なければいけないなど、コンビニ経営は大変なことも多いと感じました。人とかかわる事が好きな人は、たくさんのお客様と接する事のできるコンビニは最適な職種だと思いました。</p>	

事例4

1	業種・職種	福祉用具会社のオムツ給付担当（自治体の福祉オムツ給付）
2	扱っている商品・サービス	福祉介護の用具、住宅改修
3	業務内容	要介護1からの利用者にもオムツを納品、配達（給付）。ベッド、車椅子の点検、ケアマネージャーとの打ち合わせ、事務。ケアマネージャーと同行し利用者宅を訪問。
4	研究前のイメージ	たくさんのお年寄りのところへオムツを届けていて忙しそう。お年寄りを相手にするので、業務をこなしていくのは簡単ではなさそう。
5	研究後、または企業見学の印象（雰囲気も含めて）	とても忙しく時間に追われている。配達だけではなく事務や打ち合わせなどいろいろな仕事をする。
6	実際に働いている人の印象（全体・若手社員・管理職など）	男性が多い。仕事が終わってからも連絡を取り合っていて連携をとっている。一緒に食事に行ってコミュニケーションをとっていて仲が良い。
7	楽しいこと・やりがい	利用者様、家族様とおムツ、介護用品を通して寄り添うこと。全員の利用者様に滞りなくオムツをお届け出来た時にやりがいを感じる。
8	大変なこと・つらいこと	過密なスケジュールでの配達なので時間の余裕がない。連休明けは配達物が溜まっているので残業が続く。
9	業界・業種の動向と将来性	高齢者が増えてきているので、これからこの仕事は必要とされると思う。また、今のままでは人手が足りないのもっと社会雇用や労働環境を良くして働く人を増やした方が良いと思う。
10	条件	8:40～17:40（1時間休憩）、土日祝日休み、制服あり、車通勤可
11	<p><あなたの感想> 超高齢社会の現在、この職業は需要が高まっていく大切な仕事だと感じた。たくさんのお年寄りや体の不自由な方にオムツを届けないといけないという責任感のある仕事だと思った。この課題をきっかけに叔母の仕事の苦労ややりがいを聞くことが出来て福祉の仕事の考え方が変わった。また「配達」「事務」といった仕事の中にも利用者様への心配り、気遣いがあり、会社の中でもコミュニケーションを取り合ったりすることが円滑に気持ちよい環境で仕事をするという上で大切だと思う。私もどのような仕事に就いても、お客様、働く人も気持ちよく仕事が出来るように心がけたいと思う。</p>	

事例5

1	業種・職種	バスの運行管理（運輸業）
2	扱っている商品・サービス	高速バス、貸切りバス、路線バスなど
3	業務内容	事務兼運行管理、客の対応、忘れ物などの問い合わせ
4	研究前のイメージ	バスの運行に関する全般をやってそう。電話応対や客の案内業務の仕事も行う。
5	研究後、または企業見学の印象（雰囲気も含めて）	バスの運行管理はもちろん、お客さんの応対など幅広く仕事がある。バス会社は多くの人によって支えられている。
6	実際に働いている人の印象（全体・若手社員・管理職など）	30歳～50歳の男性が多い。 バスの運転士は約90人いて1割は女性。
7	楽しいこと・やりがい	お客さんに電話応対、多客時の立会いで満足してもらった時。多客時（増便）のバスの運転。
8	大変なこと・つらいこと	運行の管理の時の24時間勤務、事故や苦情の対応、休みが取りにくい、有給休暇がない。
9	業界・業種の動向と将来性	運転士不足、利用客が多いので安定はしている。
10	条件	運行の時は24時間勤務・シフト制（休日も）、制服あり、車通勤可、運転士なら中卒OK
11	<p><あなたの感想> 私たちが普段当たり前のように利用しているバスは、私は表面上の部分しか知らなかったけど、今回インタビューして、バスを管理している多くの人々によってバスは走っているなど思った。これからバスなどに乗った時は運転士にお礼を言えるようになりたい。</p>	

事例6

1	業種・職種	保育所の嘱託職員
2	扱っている商品・サービス	保育の補助
3	業務内容	子供の人数確認、給食おやつトイレの補助、保育所の防犯
4	研究前のイメージ	子供と一緒に遊んだり、見守りをすると思っていた
5	研究後、または企業見学の印象（雰囲気も含めて）	子供が怪我をしたりケンカをしないように気を配っている。先生との連絡などが大切。
6	実際に働いている人の印象（全体・若手社員・管理職など）	若人から年配まで 若い人が多い 女性が多くて男性が少ない
7	楽しいこと・やりがい	子供にたくさん関われる 保護者とのコミュニケーションが楽しい
8	大変なこと・つらいこと	言うことを聞いてくれない。目を離すことが出来ないから気をはっていること。
9	業界・業種の動向と将来性	保育士の免許を持っている人がなかなか就職してくれない。給料を上げてほしい。
10	条件	日によって時間が違う。エプロンをつける。車通勤可。
11	<p><あなたの感想> 子供の世話をするだけでも大変なことだと思うのに、怪我をしないようにとか気を遣うことが多くてさらに大変そうだなと思いました。この保育園だけでなく、いろんなところの保育園が人手不足だということを知ったので、こども学科の人たちが頑張ってくれるといいなと思いました。</p>	

事例7

1	業種・職種	看護師
2	扱っている商品・サービス	熱、血圧を測りながら日常会話を通して患者さんの少しの変化も見逃さず観察すること。
3	業務内容	挨拶をしながら少しの変化も見落とさず観察する。
4	研究前のイメージ	笑顔で優しいイメージと随分違い、細やかなところまで配慮され、緊張感と責任感の強い仕事である。
5	研究後、または企業見学の印象（雰囲気も含めて）	看護師という仕事はかなりの責任感がないとできないと思った。
6	実際に働いている人の印象（全体・若手社員・管理職など）	家族のことよりも患者さんのことを考えているイメージ。患者さんに対し笑顔で優しく接している。
7	楽しいこと・やりがい	患者さんに「ありがとう」「あなたのおかげよ」「あなたで良かった」と強く信頼関係を築けたとき。回復して笑顔が見られたとき。
8	大変なこと・つらいこと	医療は日進月歩なので経験値だけではなく、常に勉強が必要なこと。年代の違う人と同じ目標に向かって指導、目標達成すること。
9	業界・業種の動向と将来性	高齢社会に向けて、地域医療、終末医療の家族の関わりが患者さん本人の意志と相違なく最期を迎えられる看護ができること。
10	条件	国家資格であること。24時間交替勤務である。
11	<あなたの感想> 看護師になるためには国家資格が必要で勉強が大変なのに、看護師になっても経験だけではなく日々勉強していかないとならないと知って、とても大変な職業であるとよくわかった。医療はこれからも進歩していくから患者さんやその家族からの感謝があるからこそやりがいがあると思った。	

【調査結果】

①ヒアリング対象が従事している職業の業種

(表1)

業種（注1）	件数	構成比
医療，福祉	21	16.9%
運輸業，郵便業	4	3.2%
卸売業，小売業	40	32.3%
教育，学習支援業	2	1.6%
金融業，保険業	2	1.6%
建設業	3	2.4%
公務	2	1.6%
鉱業，採石業，砂利採取業	1	0.8%
宿泊業，飲食サービス業	22	17.7%
情報通信業	2	1.6%
生活関連サービス業，娯楽業	7	5.6%
製造業	7	5.6%
複合サービス事業	1	0.8%
サービス業（他に分類されないもの）	6	4.8%
農業，林業	1	0.8%
不明	3	2.4%
合計	124	

(注1) 総務省日本標準産業分類（平成25年10月改定）により分類

<レポートに記載されている実際の業種または職種>

医療, 福祉	21
医療事務、営業（医療機器、医療材料販売ディーラー）、福祉用具会社のオムツ給付担当、介護福祉士、保育所の嘱託職員、保育士、歯科医院受付、訪問介護、看護師、介護職、歯科技工士、管理栄養士（保育園）、給食スタッフ（保育園）、医療事務	
運輸業, 郵便業	4
バスの運行管理（運輸業）、配送業者、パート野菜のパッケージ（倉庫）、空港ラウンジ	
卸売業, 小売業	40
ホームセンター、コンビニエンスストア、ショッピングモール（オペレーションセンター）、家電量販店、スーパー、販売業（和洋菓子）、花屋、洋服販売、本屋店長、総合小売業、小売業（大工道具、日用品）、家具雑貨販売、パン屋、経理事務（アパレル）、スポーツショップ（店長）、自動車ディーラー、洋服販売、寝具販売、ホームセンター（事務）	
教育, 学習支援業	2
幼稚園の教員、自動車教習所の教官	
金融業, 保険業	2
銀行業、金融機関支店長	
建設業	3
建設業（左官工）、建設業事務、木材加工	
公務	2
公務員（自衛隊）、地方公務員（税務課）	
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1
地質調査	
宿泊業, 飲食サービス業	22
居酒屋、寿司屋、回転寿司、ファーストフード、蕎麦屋、ホテル（宴会）、カラオケ店、寿司マスター、カフェ店員、飲食店（レストラン）店長、ラーメン店（自営）、イタリアンカフェ、ステーキ屋店長、飲食店、カフェレストランのキッチン、イタリアン料理ホールスタッフ	
情報通信業	2
携帯電話販売員、新聞折込チラシ	
生活関連サービス業, 娯楽業	7
映画館、結婚式場スタッフ、ゴルフ場、クリーニング工場、クリーニング（受付）、エステティック店（店長）	
製造業	7
石油化学製造オペレーター、工場（事務）、工場の経理事務、化粧品、製造業事務（品質管理グループ）、チーズ製造、化粧品製造の営業	
複合サービス事業	1
郵便局	
サービス業（他に分類されないもの）	6
会計事務所、コールセンター、トリマー（犬の美容師）、サービス業（パート）、病院内清掃、営業事務（建廃）	
農業, 林業	1
農業（梨）	
不明	3
事務、一般事務	

②ヒアリング対象者

ヒアリング対象である職業に従事する者が家族等（祖父母、父母、兄弟、父母の兄弟、従兄弟、従姉妹）か否かで分類した（レポートの記述内容から判定）

（表2）

ヒアリング対象である職業に従事する者	件数（レポート提出者数）	構成比
家族等である	11	8.9%
家族等ではない	4	3.2%
不明	109	87.9%
合計	124	

③研究前と研究後の差

レポート項番4「研究前のイメージ」と項番5「研究後、または企業見学の印象」の記述の間に、内容や印象、感想などに大きな差があるかどうかで分類した。

（表3）

項番4と項番5の記述の差	件数（レポート提出者数）	構成比
差が顕著	55	44.4%
差はあまりない	26	21.0%
どちらともいえない	43	34.7%
合計	124	

※研究前と研究後の差が顕著な記述例

業種・職種：医療事務

研究前のイメージ	接客、保険証を確認したり、カルテの入力をしたりする。
研究後、または企業見学の印象	患者への気遣い、配慮がすごかった。 また、医師がスムーズに仕事ができるように動いていた。

業種・職種：地方公務員（税務課）

研究前のイメージ	真面目で堅い。 パソコンにただひたすら向き合っている。
研究後、または企業見学の印象	ただパソコンに向き合っているだけではなく、来庁された市民の窓口対応もおこなっている。

※研究前と研究後の差があまりない記述例

業種・職種：コールセンター

研究前のイメージ	受信しながらデータ入力に難しそう。 お客様からの問い合わせを聞き取るのが大変そう。
研究後、または企業見学の印象	幅広い業務内容を取得するのが大変。 お客様からの問い合わせ内容を把握し、同時にデータ入力することが大変。

業種・職種：クリーニング

研究前のイメージ	お客さんが来ない時は暇そう。 休日は混みそう。 クレームがたくさんありそう。
研究後、または企業見学の印象	予想していたとおり、平日は暇で休日は混んでいた。 クレームがきた時の対応が大変だった。 受付する時に、お客さんと話して仲良くなれた。

④キーワード

レポートの内容を特徴づけるキーワードを抽出し、それをカテゴリに分類、レポートの中で記述されているキーワードの数をカウントした。

※ポジティブ群（項番f、g、h、i）、ネガティブ群（項番a、b、c、d）

(表4)

カテゴリ 順番	キーワード	カウントされた キーワードの数
a	大変、つらい、きつい、難しい、ハード、暑い、寒い	225
b	忙しい、人が足りない、休みがない、残業、勤務時間長い、夜勤	74
c	プレッシャー、責任重大、神経を使う	13
d	不安、心配	2
e	安心、安定	22
f	やりがい、責任感、大切な、重要な、達成感、必要、モチベーション、素敵な	61
g	顧客満足、感謝、ありがとう、成果、お礼	72
h	楽しい、好き	26
i	仲が良い、和気あいあい、雰囲気が良い、協力、明るい、笑顔、チームワーク	40
j	給料、収入、報酬、時給	10
k	勤務時間、労働時間、交代勤務	8
l	コミュニケーション、挨拶	25
m	クレーム、苦情	23
n	驚いた	12
o	高齢化、老人、高齢者	15
p	接客、マナー、挨拶、礼儀正しい	16
q	ノルマ、目標達成	7

⑤ポジティブまたはネガティブ

項番11「あなたの感想」の記述内容が、ポジティブまたはネガティブであるかを分類した。

(表5)

項番11の記述内容	件数（レポート 提出者数）	構成比
ポジティブ	55	44.4%
ネガティブ	26	21.0%
どちらともいえない	43	34.7%
合計	124	

※ポジティブまたはネガティブな場合の記述例

<ポジティブ>

「大変なことも沢山あるけれど、子どもが好きで、子どもたちから学ぶことも多く、やりがいを感じられると言っていたのが印象的でした。」

「私はなりたい職業として地方公務員も考えているので今回、プラスな部分もマイナスな部分も知ることができてよかったです。」

「これからは高齢化社会になっていくのでこの職業はとても重要なものになると思った。」

<ネガティブ>

「ミスがあったりするとその分残業になってしまうので大変そうだと思います。」

「労働時間も長いし、やることも多く、お正月ゴールデンウィークなどもほとんど休めないなので、大変な仕事だと思います。」

⑥研究後の行動

レポート項番11「あなたの感想」に、自分自身（学生）の今後の行動に関する記述の有無を分類した。

(表6)

自分自身（学生）の今後の行動に関する記述	件数（レポート提出者数）	構成比
有り	23	18.5%
無し	101	81.5%
合計	124	

※自分自身（学生）の今後の行動に関する記述例

「これからバスなどに乗った時は、運転士にお礼を言えるようになりたい。」

「私もどのような仕事に就いても、お客様、働く人も気持ち良く仕事出来るように心がけたいと思う。」

「自分がお店に行った時はパートやアルバイトの人にき

ちんとお礼を言いたい。」

※記述量

レポート項番11「あなたの感想」の記述量（行数）をカウントした。

全行数：440行 一人当たり平均行数：3.5行

⑦レポートの無記入項目の有無

(表7)

レポートの無記入項目の有無	件数（レポート提出者数）	構成比
有り	10	8.1%
無し	114	91.9%
合計	124	

3 考察

①全体の印象

まず着目できるのはキーワードの分布である。(表4)から明らかのように、カテゴリ項番 a「大変、つらい、きつい等」のキーワード数が225ワードで圧倒的に多数であった。

※上記キーワードが用いられた記述例

「正直、コンビニで働くことは楽かと思っていたのに、

意外とやる事が多くて大変でした。」

「私もアルバイトをしているので仕事の大変さが身にしてみてわかった。」

「社会人になると、目標を達成しないといけなかったり、何に対してもノルマがあり、常に売上に気をかけないといけない所が大変だと思いました。」

②キーワードのカテゴリ項番の分類と集計 (表4)

(表8)

キーワードカテゴリ群	キーワード数	構成比
ポジティブ群 (項番f、g、h、i)	199	30.6%
ネガティブ群 (項番a、b、c、d)	314	48.2%
その他のカテゴリ	138	21.2%
合計	651	

このように、キーワードはネガティブ群(314)がポジティブ群(199)を上回っていた。

このことから生の職業観が概ねネガティブであることが示唆されていると考える。

③ やりがい (表4)

ポジティブ群(項番f,g,h,i)では、カテゴリ項番gのキーワード数が72ワードで最も多かった。この結果から、ヒアリング対象である職業に従事する者が、働く場面に於いて、他者(主に顧客)から感謝される時に「やりがい」を感じる人が多いことを示していると思われる。

※カテゴリ項番gのキーワードを用いた記述例

「お客様からの『ありがとう』の言葉がもらえ、それが

やりがいになっていくんだと思った。」

「本当に大変なお仕事だからこそ、患者さんにありがとうと言ってもらったり、やりがいがとても大きいのかなと感じました。改めて看護師さんはすばらしいと思いました。」

④ ポジティブまたはネガティブ・行動とキーワードの関連性

項番11「あなたの感想」の記述の内容がポジティブまたはネガティブであるか、自分自身(学生)の今後の行動に関する記述の有無から、カテゴリ項番gのキーワード数の関連を以下の表に示す。

(表9)

項番11の記述内容	件数(レポート提出者数)(a)	カテゴリ項番gのキーワード数(b)	一人当たりのカテゴリ項番gのキーワード数平均(b)/(a)
ポジティブ	55	46	0.83
ネガティブ	26	9	0.34
どちらともいえない	43	17	0.39
合計	124	72	

(表10)

自分自身(学生)の今後の行動に関する記述有無	件数(レポート提出者数)(a)	カテゴリ項番gのキーワード数(b)	一人当たりのカテゴリ項番gのキーワード数平均(b)/(a)
有り	23	17	0.73
無し	101	55	0.54
合計	124	72	

(表11)

カテゴリ項番gのキーワードの有無	件数(レポート提出者数)(a)	カテゴリ項番gのキーワード数(b)	割合(b)/(a)	自分自身(学生)の今後の行動に関する記述が有るレポート提出者(c)	割合(b)/(a)
有り	54	33	61.1%	14	25.9%
無し	70	22	31.4%	9	12.9%
合計	124	55		23	

(表9)(表10)では、項番11「あなたの感想」の記述内容がポジティブな学生55名は、そうではない学生に比べてカテゴリ項番g(ポジティブ群)のキーワードを多く用いている(平均0.83ワード)。加えて、今後の行動に

関する記述が有る学生23名は、記述の無い学生に比べてカテゴリ項番gのキーワードを多く用いている(平均0.73ワード)。

また(表11)では、カテゴリ項番gのキーワードを用

いている学生（54名）は、用いていない学生（70名）と比べて、項番11「あなたの感想」の記述内容がポジティブな傾向がある（54名のうち33名がポジティブで割合61.1%。用いていない学生の場合は31.4%）。同様に、カテゴリ項番gのキーワードを用いている学生（54名）は、用いていない学生（70名）と比べて、自分自身の今後の行動に関する記述をする傾向がある（54名のうち14名に記述があり、割合25.9%。用いていない学生の場合は12.9%）。

これらから読み取れるのは、ヒアリング対象である職業に従事する者が働く場面に於いて、他者（主に顧客）から感謝される時に「やりがい」を感じていることに対し、学生が共感していることを示しているのではないだろうか。

職業に従事する者の「やりがい」の内容に共感しているので、項番11「あなたの感想」がポジティブになる傾向があり、自分自身の今後の行動に関することも記述する傾向があるのではないかとと思われる。

(表12)

項番11の記述内容	件数（レポート提出者数）(a)	カテゴリ項番 i のキーワード数(b)	一人当たりのカテゴリ項番 i のキーワード数平均(b)/(a)
ポジティブ	55	25	0.45
ネガティブ	26	4	0.15
どちらともいえない	43	11	0.25
合計	124	40	

(表13)

自分自身（学生）の今後の行動に関する記述有無	件数（レポート提出者数）(a)	カテゴリ項番 i のキーワード数(b)	一人当たりのカテゴリ項番 i のキーワード数平均(b)/(a)
有り	23	17	0.73
無し	101	23	0.22
合計	124	40	

(表14)

カテゴリ項番 i のキーワードの有無	件数（レポート提出者数）(a)	カテゴリ項番 i のキーワード数(b)	割合 (b)/(a)	自分自身（学生）の今後の行動に関する記述が有るレポート提出者 (c)	割合 (b)/(a)
有り	26	15	57.7%	8	30.8%
無し	98	40	40.8%	15	15.3%
合計	124	55		23	

⑤職場の雰囲気・人間関係（表4）

ポジティブ群（項番f、g、h、i）では、カテゴリ項番gに次いで多数なのはf（61ワード）である。このカテゴリのキーワードは「やりがい」それ自体であるので除外すると、次に多数なのはi「仲が良い、和気あいあい、雰囲気が良い等」である（40ワード）。

※カテゴリ i のキーワードを用いた記述例

「従業員の仲が良い。一緒に働いてみたいと思える職場だった。」

「仕事を選択するうえで大事なのは、職場の雰囲気なのだ今回改めて感じました。」

これは、ヒアリング対象である職業に従事する者が、職場の雰囲気や職場内での人間関係を重視していることを示唆しているのだろうか。前項④と同様に、レポート項番11「あなたの感想」の記述内容がポジティブまたはネガティブか、今後の行動に関する記述の有無、項番iのキーワード数の関連を以下（表12）（表13）（表14）に示す。

(表12) (表13) (表14) では、職業に従事する者が職場の雰囲気や職場内での人間関係を重視していることに対して、学生は一定の共感を示していると思われる。

⑥ヒアリング対象者との関連性

ヒアリング対象が家族等であることが明らかだった学生は、11名であった(表2を参照)

これは全体の9%程度であるので、以下の考察を行う上でデータの信頼度については注意が必要ではある。しかし、ヒアリング対象が家族等であることが明らかな学生のレポートは、ポジティブとの関連性が高い特徴がある。以下(表15)(表16)にそれを示す。

(表15)

ヒアリング対象である職業に従事する者	件数(レポート提出者数)(a)	項番11の記述内容がポジティブなレポート提出者数(b)	割合(b)/(a)	ポジティブ群カテゴリ(項番f、g、h、i)のキーワード数(c)	一人当たりポジティブ群カテゴリのキーワード数(c)/(a)
家族等である	11	8	72.7%	22	2.00
家族等ではない	4	2	50.0%	7	1.75
不明	109	45	41.3%	170	1.56
合計	124	55		199	

(表16)

ヒアリング対象である職業に従事する者	件数(レポート提出者数)(a)	自分自身の今後の行動に関する記述が有るレポート提出者(b)	割合(b)/(a)
家族等である	11	3	27.3%
家族等ではない	4	1	25.0%
不明	109	19	17.4%
合計	124	23	

(表15)(表16)では、ヒアリング対象が家族等であることが明らかだった学生11名は、他113名と比較すると、「あなたの感想」の記述内容がポジティブな傾向がある(ヒアリング対象が家族等であることが明らかだった学生11名のうち、8名がポジティブな記述内容のレポートを提出しており、その割合は72.7%)。また、ポジティブ群(カテゴリ項番f、g、h、i)に属するキーワードを用いる数が多い傾向がある(11名合わせて22ワード、一人当たり2.00ワード)。さらに、自分自身の今後の行動に関する記述が多い傾向がある(11名のうち、3名に自分自身の今後の行動に関する記述があり、その割合は27.3%)以上の傾向は何を示しているのだろうか。対象が家族等である場合、「業務に従事する者に対してヒアリングを行い結果を提出する」という課題に対して、学生はより真剣に取り組んだのではないかと考える(学生がそれを意識しているか否かにかかわらず)

では、なぜヒアリング対象が家族であると真剣になるのか。家族等の労働によって自分自身の学生生活が支えられている面もある。そのため、家族等が働く姿は決して他人事ではあるまい。ゆえに、仕事の内容について真剣に理解しようとする態度で課題に取り組んだのではないだろうか。その結果、仕事や働くことを自分自身の事と捉え、今後の行動に関する記述も多くなったと推察する。これらの事は、「職業に対する理解度」①～⑤が深まることにつながるのではないかと。

※上記に関する記述例

「家事と両立して働いているので、本当に大変な思いをしていると思うので、できることはこれからお手伝いをしていきたいと思いました。」

⑦レポートの記述ボリューム(記述行数)

職業に対する理解度が深まった結果、レポートの記述はポジティブな内容(項番11の記述内容がポジティブで

あり、ポジティブ群カテゴリ項番f、g、h、iのキーワードが多く記述されている)になったのではないかと、という仮説をここで提出したい。

この仮説を検証するために、項番11「あなたの感想」の記述ボリューム（記述行数）からも考察する。分類結

(表17)

レポート項番11の記述行数	件数（レポート提出者数）	構成比
0～2行	23	18.5%
3～4行	80	64.5%
5～8行	21	16.9%
合計	124	

前項⑥では「ヒアリング対象である職業に従事する者が家族等である場合」で学生の職業の理解度について述べたが、理解度と密接な関係があるのはレポートの記述ボリュームだと思われる。提出されたレポートの項番11

果を以下（表17）に示す。

<レポート項番11「あなたの感想」の記述行数を以下の3水準に分類する>

・0～2行 ・3～4行 ・5～8行

の全行数合計は440行で、一人当たり平均行数は3.5行であった。記述行数、項番11の記述内容がポジティブまたはネガティブ、ポジティブ群カテゴリ項番f、g、h、iのキーワード数の関係を以下（表18）に示す。

(表18)

項番11の記述行数	件数（レポート提出者数） (a)	項番11の記述内容がポジティブなレポート提出者数(b)	割合 (b)/(a)	ポジティブ群カテゴリ項番f、g、h、iのキーワード数(c)	一人当たりポジティブ群カテゴリのキーワード数(c)/(a)
0～2行	23	3	13.0%	14	0.60
3～4行	80	38	47.5%	136	1.70
5～8行	21	14	66.7%	49	2.33
合計	124	55		199	

(表18)では、記述行数が多い学生は、内容がよりポジティブである（5～8行の学生21名のうち66.7%の14名がポジティブなレポートを提出している）。また、ポジティブ群カテゴリのキーワードをより多く用いている（5～8行の学生21名はポジティブ群カテゴリのキーワードを一人当たり2.33ワード用いている）。

この結果は、職業に対する理解度が深い学生の職業観は、働くこと（仕事、職業）をよりポジティブに捉える傾向があるという仮説をサポートすると考える。

4 おわりに

本稿では、「これから就職期を迎える学生はどのような職業観を持っているのか」を明らかにすることを試みた。その結果、大きく二つの傾向がみられた。一つ目は、

学生の多くは仕事や働くことに対して「大変」、「つらい」、「きつい」などのネガティブなイメージを多く持っていることである。二つ目は、職業に対する理解度が深い学生の職業観は働くことをよりポジティブに捉えるが（特にヒアリング対象である職業に従事する者が家族等である場合は理解度が高くポジティブ）、理解度が浅い学生は働くことをよりネガティブに捉える傾向がある。筆者はこれら二つの結果を仮説として本稿で提出する。

この仮説を踏まえ、後期授業「キャリアデザインⅡ」では、学生は一人につき「業界研究シート」約10人分を熟読後、仕事は「大変」というキーワードについてグループディスカッションを実施した。その後、学生はレポートを提出し、その記述から「大変」をどのようにとらえているかを集計した。その結果を以下に示す（レポート

提出学生：94名)

①ポジティブとネガティブの両方でとらえる：46名

②ポジティブにとらえる：40名

③ネガティブにとらえる：8名

※①の記述例

「ネガティブな意味でとらえる人も多いと思うが、‘やりがい’という意味も含まれていると思いました。お客様からの『ありがとう』という感謝も言葉も嬉しい。」

「少し辛い思いをする事によって、やり終えたあとの達成感や充実感につながるのではないと思ったからです。」

「‘やりがい’を持つことで、忙しいながらもポジティブな大変になると思いました。」

「正直、ネガティブのほうのイメージでとらえてきましたが、大変だけどやりがいがあるという言葉を見て、自分の中で責任もってやり遂げた達成感も生まれると考えたからです。」

「大変な事も終わってみると、自分にとってプラスになるのではないかと考えるからです。」

「お客様が喜んでくれると、大変だったけどやってよかったなあと思えるから。でも、長時間労働や残業ばかりだと働くのは大変だなと思う。その時の状況によってポジティブとネガティブの両方として使われていると思った。」

※②の記述例

「大変さの中にもやりがいを感じているから。『ありがとう』と言われて、また頑張ろうと思える。」

「仕事が大変なのは充実している証拠。成長もできる。」

「仕事があって忙しいと言えるのは嬉しい事だからです（アルバイトで暇な時間が多く辛かった）」

「お客様のために自分の知識を活かせる時に生まれるやりがいや楽しさの中の大変さもあるのではないと思った。」

「大変だから諦めるのではなく、大変だからこそいかに効率良くできるか、周りの人への気遣い等につながると思うので、大変なのは良いこと。」

※③の記述例

「休みが取れなかったり、人手不足で深刻な問題が多いと思ったからです。」

「人と関わることが仕事をする上で大事であり、コミュニケーション力を高めないと力不足なのではないか、自信を失くしてしまうのではないかと思ったからです。」

「仕事（アルバイト）をしていて、思っているより仕事が増えたら大変と感じるからです。自分はネガティブ思考でとらえやすいので、物事をプラスに考えて仕事をしていけるようにします。」

上記結果から、約9割の学生は「大変」という言葉にポジティブな考えも含めている。その理由は、夏休みのインターンシップやアルバイトを体験した事、「業界研究シート」や「大変」というキーワードに関するグループディスカッション等により、前期よりも仕事や働く事への理解が深まったからであると考えられる。本稿の考察から、ヒアリング対象が家族等以外の学生の多くは、前期に「業界研究シート」を記入した時点では「なんとなく」仕事が大変という感覚でとらえていたと推察する。このように漠然としたイメージでは暗闇の中を歩くような感覚となり、自分の方向性も見えず、潜在的に不安が増したのではないだろうか。しかし、後期には多様な体験を経て、「なんとなく」からより具体的な視点で仕事を捉えることができるようになったのではないかと推察する。具体的な視点とは、消費者からは見えない仕事内容（身近なコンビニエンスストアの店長やアルバイトの役割分担、華やかに見える仕事の裏側にある体力が必要な業務等）、仕事の面白さと苦勞、職場の雰囲気（人間関係、コミュニケーションの大切さ等）、条件（残業や休日の過ごし方とモチベーションの関連性等）、働く人の思いや気持ち（やりがい等）等と考える。さらに特筆すべきことは、①と②の記述では「やりがい」という言葉が非常に多いことである。大変だからこそ、やりがい、充実感、達成感、自分の成長につながるという内容が約9割を占めていた。これらは、学生自身が働く上での価値観と言えよう。つまり、学生は働く事を「他人事」ではなく、自分の価値観、興味、スキル、知識等と照らし合わせながらより自分軸で捉えられるようになったのではないかと推察する。それにより、今後は自分の将来を具体的に考え、就職活動にもより自信を持って取り組めるのではないだろうか。

もちろんインターンシップやアルバイト等の体験だけではなく、仕事や働くことについての事前研究も必要で

ある。しかし大切な事は、体験や事前研究において、仕事や働くことを自分軸で考える事ではないだろうか。この「心構え」こそが最も重要であると考え。そもそも近年は核家族が増え、地域コミュニケーションが減少している。子供たちは家族や友人と接することは多いが、働く人と触れ合う機会が少ないため、仕事をイメージする事が難しい環境である。そのため、就職活動は大学生にとって「突然」始まる感覚となり、やりたい事がわか

らない、何から始めていいのかわからない等、戸惑う学生が多い。今後は家庭や義務教育を含む学校教育においても、働くこと（仕事、職業）をより深く学び知る仕組みづくりの検討が必要であろう。しかし、まずは今、学生自身が働く事を自分と向き合いながら考え、できる事からしっかり行動することが重要である。今後も授業をとおして、学生が納得のいく進路選択ができるようにサポートしていきたい。

資料1（課題レポートの提出用紙）

【業界研究シート】

1	業種・職種	
2	扱っている商品・サービス	
3	業務内容	
4	研究前のイメージ	
5	研究後、または企業見学の印象（雰囲気も含めて）	
6	実際に働いている人の印象（全体・若手社員・管理職など）	
7	楽しいこと・やりがい	
8	大変なこと・つらいこと	
9	業界・業種の動向と将来性	
10	条件	勤務時間帯・休日・社会保険完備・制服有無・車通勤可・交通費など
11	<あなたの感想>	